



令和8年度 学校経営計画

江田島市立大柿中学校

I ミッション（地域社会における自校の使命・存在意義）

生涯を自立的に生き抜き、未来を切り拓く力を育成する教育の推進

II ビジョン（目指す学校像・自校の将来像）

- 自己の生き方を追求し、その実現のための意欲と実践力の育成を目指す。
「行動三原則」の充実、「レジリエンス」の育成を通して
- 教育活動全体を通して、次の資質・能力の育成を図る。下線は重点
 - 1 **【主体性】**協働的な学び・個別最適な学び等、自ら学び方を自己調整して、主体的に学ぶ力
 - 2 **【レジリエンス】**困難な壁にぶつかっても心の折れない力（心の回復力）
 - 3 **【協調性】**他の人と一緒に助け合ったり、譲り合ったりしながら、同じ目標に向け、やり遂げようとしたり、新たな解決策を生み出したりしようとする意欲や態度
 - 4 **【高い志】**より高い目標を定め、自己の生き方を追求し、その実現のために努力する志と実践力

III 現状分析

【知：確かな学力】

- ・授業規律面では大きな課題がなく、落ち着いて授業に臨んでいる。「目標をもって一生懸命学習に取り組んでいる（R6:89.7→R7:88.4%）」は高い。「他者の考えを受け入れ自分の考えを深めている（R6:88.2→R7:82.6%）」は少し減少し、「根拠をもとに、相手に分かりやすく考えを伝える（R6:63.2→R7:65.2%）」は課題が見られた。
- ・学力調査結果から、全国平均を3ポイント以上上回った教科は、1年数学、2年社会、理科であった。思考・判断・表現の正答率で全国平均以上の教科の割合は20%で、昨年度の60%より下回った。

【徳：豊かな心】

- ・生徒に落ち着きが見られ、「大きな声ではっきりと挨拶や返事をしている」（75.9%→89.7）も向上が見られる。
- ・地域清掃等のアダプト活動や奉仕活動などで進んで貢献活動に参加する生徒はほぼ全員で、「自分のよさは周りから認められている」と感じている生徒（71.0→81.2%）は前年度より10ポイント上回った。
- ・レジリエンスに関して（53.9→57.1）と少し向上した。道徳や行事のあとの振り返りなどが成果と考えられる。
- ・不登校生徒は昨年度4名から2名へと減少し、新たな不登校は1名であった。病気等による長欠生徒は3名であった。S S R在籍生徒1名は、読書を通して日々の漢字学習などに意欲的になっている。保護者やS C、関係機関等との連携を深めることができています。

【体：すこやかな体】

- ・体力・運動能力調査では県平均以上は、2年生男子6種目で唯一目標を達成した。女子が特に課題が大きい。
- ・「健康観察を通して自分の生活習慣の改善を図っている」生徒は、70.7%→64.7%に減少し、課題である。

IV 目標及び取組

【学校教育目標】 「誠」を校訓として、人間性豊かな、たくましい生徒の育成につとめる

【スローガン】 ～「時を守り」「場を清め」「礼を正す」～

	中期経営目標	短期経営目標	具体的な取組・方策
知	主体的に学ぶ生徒の育成 【学力】	知識・技能の確実な定着を図る。	・継続的・計画的な家庭学習の工夫（自学ノート・ICT活用） ・定期的な確認テストの実施（数学・英語）と個別の補充学習等
		思考力、判断力、表現力を鍛える。	・協働的な学び・個別最適な学び、自己調整して主体的に学ぶ力の育成 ICTの効果的な活用による授業改善（自由進度学習・動画・その他） ・思考が深まる授業づくりの推進【発問の工夫】
徳	自己実現と社会貢献を図る基礎の育成 【規律】【自己実現】【貢献】	行動三原則の徹底を図る。（「時間」「あいさつ」「返事」）	・身の回りの整理整頓（履物・椅子・荷物等）の徹底 ・あいさつ、返事の指導の徹底・生徒会によるあいさつ運動
		不登校等生徒への取組を充実させる。	・担当教員を中心とした学校全体での組織的な取組の充実 ・教育相談体制の充実
		レジリエンスを育成し、自己有用感を高める。	・レジリエンスを育成する学習活動の推進 ・生徒会を中心としたボランティア活動（アダプト活動）の充実
体	体力の向上と生活習慣の改善 【運動習慣・体力】	体力の向上を図る。	・保健体育科の授業を起点とし、積極的に楽しみながら運動する場の工夫 ・保健体育委員会を中心とした体育的活動の充実
		基本的な生活習慣の改善を図る。	・健康観察・元気調べを通して、自己管理の徹底 ・デジタル・シティズンシップ教育に関する指導の充実
信頼される学校	「学校組織マネジメント」の確立 「地域と一緒にあった安全・安心な学校づくり」	「働き方改革」を推進する。	・校務分掌の平準化・部活動休養日の完全実施 ・各活動の見直しと早期の起案
		積極的な情報発信を図る。	・学校だより、学級通信、HP等をタイムリーに発信
		コミュニティ・スクールの取組推進	・学校運営協議会で、課題・ビジョンの情報共有による学校づくりを進める。



令和8年度 大柿中学校経営方針

【学校の使命】 生涯を自立的に生き抜き、未来を切り拓く力を育成する教育の推進

【学校教育目標】「誠」を校訓として、人間性豊かな、たくましい生徒の育成につとめる
～「時を守り」「場を清め」「礼を正す」～

こんな学校をめざします

こんな生徒を育成します

知・徳・体をバランスよく育成し、
地域・保護者・生徒から信頼される学校
【自己の生き方を追求し、その実現のための意欲と実践力の育成を目指す】行動三原則の充実、レジリエンスの育成
1 授業を大切にし、学力・体力・主体性を伸ばす学校
2 部活動が充実し、活気があふれる学校
3 規律があり、挨拶、笑顔があふれ安心できる学校
4 地域を大切にし、貢献できる学校
5 協力・協働し、新たなことに挑戦し前進する学校

人間性豊かな、たくましい生徒 下線は重点
1 主体的に学ぶ生徒【**主体性**】
2 困難な壁にぶつかっても心の折れない生徒【**レジリエンス(心の回復力)**】
3 他の人と協力・協働して、目標達成に向けてやり遂げようとする生徒【**協調性**】
4 より高い目標を定め、自己の生き方を追求し、努力する生徒【**高い志**】

保護者

私たちはこんな教職員になります
生徒に対する教育的愛情と教育に対する使命感をもっています

- 1 確かな授業力を身に付けている教職員
- 2 豊かなコミュニケーション能力を有している教職員
- 3 他の教職員と連携・協働し、組織的に職務を遂行できる教職員
- 4 新たなものに積極的に挑戦する意欲をもっている教職員

地域

【本年度重点項目】

- 学力 主体的に学ぶ授業と家庭学習(自学)の定着 (学力の向上・ICTの効果的活用)
- 行動三原則 時間を守る、環境を美しく整える、挨拶・返事をする (社会性の育成)
- 自己実現 個の長所や進歩、努力を認め、自分のよさに気付かせる支援 (自己肯定感の向上)
- 貢献 学校や地域への積極的な貢献活動 (自己有用感の醸成)
- レジリエンス (心の回復力) 全教育活動を通して育成する (レジリエンス・マッスルの育成)

基本的な大柿中生徒の姿

規律

授業規律

- 着ベル・瞑目
- 深い礼・正しい姿勢
- 「はい」の返事

あいさつ

- 授業開始終了しっかりと
- 来客へ自らさわやかに
- 地域で自らさわやかに

学びの姿勢(授業)

- 学び合いで考えを深める
- 自分の考えを表現する
- 自らの学びを振り返る

環境美化

- 時間いっぱい集中掃除
- ロッカーの整理・整頓

運動習慣・部活動

- 昼休みに体を動かす
- 心技体の向上をめざす

家庭学習

- 毎日取り組む
- 工夫して学習する
- ICT機器を活用する

学力

貢献活動

- ボランティア活動に参加する
- 小中連携行事を頑張る
- 地域活性化に寄与する

貢献

地域と一緒に安全・安心な学校づくり

【コミュニティ・スクールの推進】

ウェルビーイングな職場環境の実現

【働き方改革の推進】